

幸せの黄色いチラシ

皆様の快適生活のお役に立つ情報をお届けします。(2019年11月4日発行) 第166号



こんにちは店長小林です。台風19号により甚大な被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。当店も何らかの形で協力させていただきたいと考えておりますので、被災地でのご要望等お教えくださいませ。

さて、11月は長い冬を迎えるに当たっての準備の月。そこで「冬を快適に過ごせる商品」「冬にあると便利な商品」を一足早くご紹介し、皆様の快適生活のお手伝いをさせていただきます。

当店の冬のベストセラー「メガネの曇り止め」



拭くだけでメガネレンズの
汚れを落とし、曇りを止める。
マスクをしても曇らない！
「スッキリ爽快シート」
(速乾性ウエットシートタイプ)
20包み入って 540円



「除雪する時、メガネの曇らねえやつねえかい？」

そんな無理とも言える
ご要望に見事に応えた
液状強力曇り止め

「アンチフォグ」
米粒ほどの量を塗るだけで一日中曇りません！
約30回分で 648円

【お知らせ】9月1日より妙高市様と障害者総合支援法における補装具（当店の場合はメガネと補聴器）の販売及び修理の契約を取り交わしましたので対象の方はご利用下さい。（長野県は28年前より全市町村と契約済み）



ちょっとコーヒーブレイク

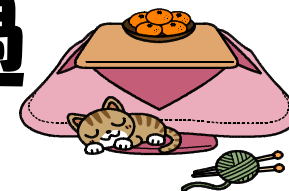
「目でだまされ、耳でだまされ」



店長小林は「SS級認定眼鏡士」ですので、使用しているメガネの度数はドンピシャ（←おじさん言葉？）で、遠くも近くもハッキリ見えます。そして店長小林は「認定補聴器技能者」ですので（←エ～イしつこい！）「配置→廃止」「環境→反響」「一番→自慢」「第一志望→体脂肪」など聞き違いやすい言葉をよ～く知ってますし、まぎらわしい単語は使いません。

そんな店長小林ですが、見事にだまされました！というか自分のミスなんですが・・・何人の方が気づかれたでしょう？先月号の幸せの黄色いチラシの巻頭言（ご挨拶）に載せた「今月10日は根の愛護デー」の一文を。そうです！「目の愛護デー」ではなく「根の愛護デー」と記載してしまっただけです。（母が見つけた）印刷前に何度も見返し読み返して誤字脱字をチェックし、さらに文章読み上げソフトで耳も使って校正しているのに、先入観とは恐ろしいもので全く気づきませんでした。毎号少なからず間違いはあるものの、当店にとって大切な記念日の間違いは痛恨のエラー。でも記事にできてラッキーかな？

これからの季節を快適に過ご すお手伝いをいたします！



店長小林も使っている色の変わる調光レンズ

- ◆紫外線量に応じてレンズの色が適切に変化します。
- ◆一年を通して眩しさを防ぎ眼病予防にもお勧めです



単焦点 レンズ 一組 ¥16,500～
遠近両用レンズ 一組 ¥27,500～

◆通常の調光レンズと異なり、運転時に車内でも着色し眩しさを抑え、ドライブレコーダーに最適！

単焦点 レンズ 一組 ¥26,400～
遠近両用レンズ 一組 ¥31,900～



車の中でも色が変わる！

年賀状書きに近用メガネセット



(レンズ+フレームで税込15,000円～)



多機能時計

常に正時示す電波時計
が温度や湿度も表示！
1部屋に1台どうぞ



¥3,300～

寒い時期の寒暖差疲労や風邪予防に「温度湿度計」をお勧めします。



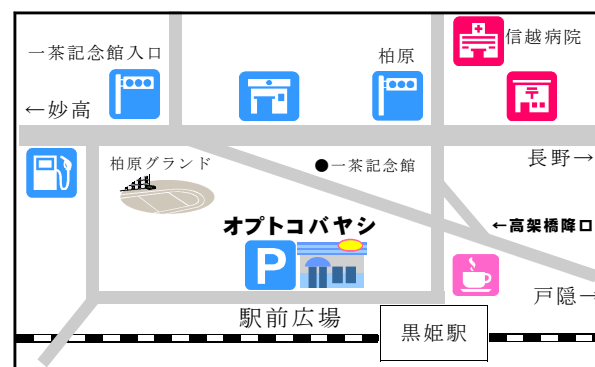
オプト家でも大活躍の
高精度「温・湿度計」

EX-2841 縦132×横121×幅50
ミリ（置き掛け兼用）¥2,750



インフルエンザリスク
が一目でわかる優れ物

TM-2584 縦124×横120×幅27
ミリ（置き掛け兼用）¥3,080



ホームP

ブログ



各種カード
パスポート
ご利用いた
だけます。

メガネ・補聴器・時計・時計修理と電池バンド
交換・宝飾品・指輪のサイズ直しとリフォーム



オプトコバヤシ

障害者総合支援法指定店 日本補聴器販売店協会正会員
「SS級認定眼鏡士」テクノエイド協会「認定補聴器技能者」の店

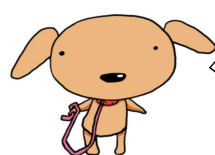
営業時間：8時～19時
定休日：土曜の午後
毎週 日曜日

☎ 026-255-2452

メガネ・補聴器共に少々お時間を頂戴し、丁寧な調整を心がけております。初めてのご来店の際にはお待たせしないためにも、事前の電話予約お勧めいたします。

裏面には「認知症と難聴の関係」とコラム「オプト散歩（停電対策）」を掲載。ぜひご覧下さい！ →

【はみ出しコラム】自分で書き間違えておいて何ですが、「戸隠大根」や飯山の「常磐ごぼう」松本の「保平株蕪（かぶ）」など、伝統野菜（主に根野菜）にスポットをあて、栽培促進を目的とした「根の愛護デー」の制定はいいか？。日本記念日協会さん。



オプトコバヤシの店
長が、地道に足で稼
いだ地域情報やニュー
ースをお届けします。

オプト散歩

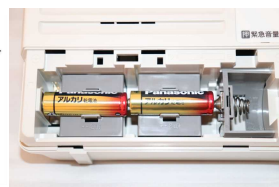
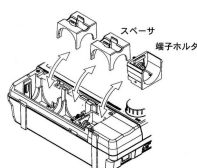
「停電時の暮らしと対策情報」

改めて台風19号で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。信濃町では大規模停電も発生し、多くのご家庭が不安な日々を過ごされました。そして後日、その時の様子や対応策を大勢のお客様に伺いましたので、それを取りまとめお伝えいたします。

19日の夜から始まった停電は地区により2日以上も続きましたが、各戸に備えられた「防災無線」からは逐次情報が流れ、心の支えにされた方も多いと思います。(役場担当者様と全ての関係者様大変お疲れ様でした！)。ところで、停電時は乾電池が予備電源となるわけですが、電池の電圧が低下すると「戸別受信機の乾電池を交換してください」といった音声が出る仕組みになっています。



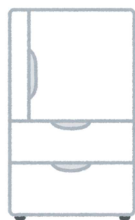
停電中の義母宅でも電池電圧が低下したため受信機正面下のフタを開けてみると中には単二電池が2個。全町で同じ時期に導入(設置)した機器ですので、やはり電池交換をするご家庭も多く、一時期町内のお店の棚から単二電池が消えました。しかし防災無線ですので、その作りに抜かりはなく中の部品の位置を変えることにより(右図と写真を参照下さい)単一でも単三電池でもOKなんです！



電池を交換しても「ピーピー」と音の出ないときは電池の使用期限を確認して下さい。乾電池の「使用推奨期限」は電池の側面、あるいは底面に記載されており、金色のアルカリ電池は製造から約10年。赤や黒のマンガン電池の場合は2~3年です。買い置きをされる場合は「先入れ先出し」で使われることをお勧めします。



ところで今回の停電で、多くのご家庭では冷凍食品や要冷蔵の食品を取り出し、クーラーボックス等に氷と共にに入れて保管されたことと思いますが、食材の多く入った冷凍庫に関してはドアを開けなければ、かなりの時間持つようです。実際「2日後でも凍ったまんまだった！」というお客様もいらっしゃいました。つまり冷蔵庫は素早い開閉で痛みやすい食材から食べ、冷凍庫は通電するまで開けない事が鉄則。そのため日頃から冷蔵庫は食料を詰め込みすぎない、逆に冷凍庫は食材を多く入れておくことを心がけましょう。

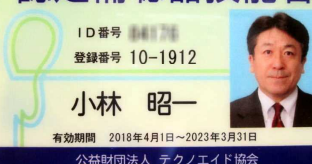


停電対策として「発電機」の購入を検討された方も多いと思いますが、その際は(今回発電機を新規購入された2名のお客様のお話しでは)使用する電気機器の総消費電力ではなく、それぞれの起動電力を足し算することで必要な発電量と、それに適した機種がわかるそうです。

例えば家庭用冷蔵庫(大型)の消費電力は概ね250Wですが、起動電力は何と4倍の1000W。そして300Wの37型テレビ1台と、照明用として100Wの電球3個分(いずれも消費・起動電力が一緒)が必要として合計すると、一般家庭では最低限1600W以上が必要となりそうです。(発電機のカatalog上での表示は1.6kVA)

前にテレビでやってたけど「耳が遠くなる」と認知症になりやすいってホントかや?

認定補聴器技能者



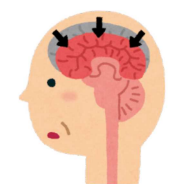
オプトコバヤシの店長、そして認定補聴器技能者の小林昭一です。最近補聴器相談にお越しいただくお客様や、そのご家族の方から上のような質問をいただくようになりました。結論から申し上げますと、それはほぼ事実で難聴は認知症の危険因子のひとつなんです(他にも要因がございます)。そこで今回は「難聴と認知症の関係」について最近の研究結果をお伝えします。

従来より先進諸外国では難聴によりコミュニケーションがうまくいけなくなると人との会話を避けるようになり、次第にうつ状態に陥ったり、社会的に孤立し、それが認知症の危険因子だと言われていました。



そして日本でも平成27年に「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」が策定され、認知症の危険因子として「難聴」も認定されました。

さらに近年の国内外の研究では、難聴により音の刺激や情報量が少ない状態が続くと、脳の萎縮や神経細胞の弱まりが進み、思考や記憶力にも影響が出ることが報告され、それが認知症の発症に大きく影響することが明らかになってきました。



そこで気をつけなければならないのが、難聴(主に加齢性)の予防。

内耳や脳への血流が悪くなると、聞こえの機能に悪影響を及ぼすとされていますので、動脈硬化や高血圧・糖尿病等の生活習慣病予防のため、喫煙やアルコールのとり過ぎ、太りすぎに注意して下さい。

また突発的な強大音は耳にダメージを与えますし、断続的な騒音も正常な細胞組織を壊し、難聴を起こしやすくするといわれています。だから大きな音で音楽を聴かない、騒音下では耳栓などで耳を守るよう心がけて下さい。



治療により改善する難聴(伝音性難聴等)もございますので「聞こえ」に少しでも不安を感じたら、まず耳鼻科を受診されることをお勧めします。そして、残念ながらお医者様に「難聴」と診断され、補聴器の装用を勧められたら、迷わず「認定補聴器技能者」のいるお店をお選び下さい!(耳鼻科には「技能者名簿」が備え付けられていますので、紹介してもらって下さい)

さらに、お店選びのポイントは二人三脚のように常に一緒になって音造りをしてくれるお店を探すこと!補聴器は購入したその日から快適に聞こえるわけではなく、脳に音を馴染ませながら調整する医療機器です。

当店では販売歴29年の店長が、お客様の生活ペースやお人柄に合わせた装用スケジュールを立て、終始サポートいたしますので、補聴器が初めての方にも安心してお使いいただいております。「聞こえ」に不安を感じたら、ぜひオプトコバヤシにご相談下さい!(耳鼻科もご紹介します)。

